

2018.07.02 14:24



いいね! 0



東名阪の非鉄スクラップ問屋などで構成され、Facebookにて相場予想を語り合う銅相場見通しの2018年7月版は電気銅建値ベースで安値760円、高値840円という予想となった。また今回からは銅スクラップの景況感についても述べている。要旨は以下の通り。

【議長】

橋本健一郎 (橋本アルミ) 大阪

【委員】

荒井 義明 (荒井明商店) 角井聡一郎 (角井地銅商店)
 勅使河原 孝行 (テシ商店) 棚町祐次 (IRユニバース)

第 76回 COMC 声明

- ①電気銅 建値予測 760-840円
 ②銅相場のトレンド ブル
 ③LME銅セツル予測 6600 - 7100ドル
 ④為替トレンド予測 円安
 ⑤ドル円予測 (TTM) 110-112
 ⑥スクラップ景況感

市中玉は故銅に関しては発生は閑散としてる様子、ただ電線にかんしては中国含む輸出ルートが細っている影響で発生はますます。メーカーの購入姿勢は足元生産はいいものの米貿易戦争含む先行き不透明感から積極的に買ってはいない様子。

【概況】

今回のCOMCにおいては

- A 米貿易戦争
 B 鉱山ストの動向

以上の意見が非常によく聞かれた。

Aに関しては、米ハーレー社の工場海外移転検討などに代表されるように米製造業からも反発の声がでてきており両国間での歩み寄りが出てくるのではないかと。

Bに関しては、エスコンディータ鉱山の労使交渉に関しては7月中に解決される可能性があるが、時期的にその他のストが起こる可能性がありブル要因

これらを踏まえ、当委員会としては、ブルの見通しを立てた。

米貿易戦争で両国間で歩み寄りが見られ、エスコンディータ鉱山で昨年同様労使交渉が決裂した場合

7100ドル付近

両条件が揃わなかった場合現状から6600のドル付近まで下落するとの予想。